

「離職者訓練」と「在職者訓練」 を両輪として推進



関東職業能力開発促進センター
(ポリテクセンター関東)

設置・運営●独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
所在地●横浜市旭区南希望が丘78番地



訓練風景



関東職業能力開発促進センター（ポリテクセンター関東）は、「ハロートレーニング」の愛称で呼ばれている離職者を主対象とした訓練（離職者訓練）と在職者を対象とした訓練（在職者訓練）等を実施している職業能力開発施設である。

基本理念

関東職業能力開発促進センターは、昭和30年に神奈川県総合職業補導所として横浜市旭区希望が丘に開校し、相鉄線希望ヶ丘駅から当センターへ向かう道路は、地域の方に「訓練校通り」として親しまれている。

当センターを設置、運営している高齢・障害・求職者雇用支援機構（JED）は、「らしく」と「ともに」を、「はたらく」という共通のゴールにつなげ、「はたらく」を通じた多様性の尊重と共生社会の実現を目指している。

その中でポリテクセンターは、利用者が「働く未来を自ら選択し、充実した職業人生を送る」ことを願い、その実現に向け「やってみたい」「できるようにになりたい」を支援する施設である。

離職者訓練

離職者訓練は、当センターではものづくり分野での就職を希望する方を対象とし、企業実習付きコースを含め、CADによる設計製図、機械加工、溶

接などの機械系の4コース、電気設備、電子回路、コンピュータプログラミングなどの電気・電子系の6コース、建築施工、リフォーム、ビル設備管理などの居住系の4コースを標準6カ月（一部7カ月）で実施している。

各コースのカリキュラムは、目指す業界で仕事をするために必要となる技術要素で構成され、知識・技能を習得できる内容となっており、訓練時に使用する教材や機器、設備などは実際の仕事で使用されているものと同等のものを使用していることで、就職してからスムーズに仕事ができるようになっていく。

また、訓練を担当する職業訓練指導員（テクノインストラクター）を中心に、就職支援アドバイザーが個々の受講者とのキャリアアカウンティングを行うなど、きめ細かな就職支援を行っている。

在職者訓練

在職者訓練は、企業で働く方々を対象とし、仕事を遂行する上で必要な専門的知識および技能・技術の向上を図るための短期間（2～5日間）の職業訓練である。

企業の生産現場が抱える課題解決のために、ものづくり分野における設計、加工、施工、検査、設備保全などの実習を中心とした訓練コースを体系的に実施することにより、中小企業等の人

材育成を支援している。また、タブレット型端末やWebを利用した生産支援システム構築をはじめとしたDX（デジタルトランスフォーメーション）に対応した訓練コースも実施している。

なお、「自社の課題や目的に合った訓練を実施したい」等、企業個別の要望に応じたオーダーメイド型の訓練コースを提案することも可能である。

事業の両輪

在職者訓練では、計画時には現在の関係分野のニーズ動向を把握するとともに、実施時には受講者の生の声から現場のニーズを得ることができ、それらのニーズを企業の求人ニーズと捉え、離職者訓練のカリキュラムや教材に反映することによって、受講者の就職活動が有利に進められている。

また、離職者訓練を修了した受講生が、就職後にさらなるスキルアップを目指して在職者訓練を受講するなど、就職先の企業との関係性を向上することができている。

当センターで実施している「離職者訓練」「在職者訓練」は、キャリアチェンジ、キャリアアップにつながる「リスキリング」そのものであり、離職者訓練だけでなく、在職者訓練も同時に実施し、充実させることによって、相乗効果を得ている。まさに両輪として職業能力開発の支援をうまく推し進められているところである。